



おかむら通信第 75 号

平成 23 年 7 月



みなさん、急に暑くなりました。われわれも 体力の限界に達しています。クーラーをなるべく使わず、窓を開け、ところどころ扇風機を使う予定ですが、どうも無理の様です。患者さんたちは疾病をお持ちの方です。当院はより重症な方が多いので、方策をかんがえています。どうかします。

院長より

① 乳がん診断について

当院では、主に大学の先生方が デジタル超音波、筑波大学で開発し実用化したエラストグラフィを駆使します。また、精密検査にかなり有力なマルチスライスCTにより、より確実な診断ができます。

- ② 市立病院への紹介に素晴らしく早い予約と、短い待ち時間で受診できるシステムがあります。どうぞ利用してください。なぜ早いかは、あらかじめ私の電子カルテから直接、市立病院地域連携室に紹介状をおくれるからです。市立病院に行ったらすでにカルテが出来上がっています。また何かがあったら医師同士で連絡がつきます。紹介の返事もかなり早いです。

③ EMI ネットの進化について

以下に 6 月の院長の行動記録がありますが、そのほとんどが IT ネット、医療連携、医療連携パスのことです。近い将来、日本全国があっと驚くようなシステムが間違いなくできると確信しています。

市民、県民の方がうまく利用できる日が来ることを強く望んでいます。

- ④ 夏の水分の摂取は 少し多めでよろしいと思います。当院でも、結構、慢性腎不全の方がも多いのも現実です。よく利尿剤をお出ししていますが、血中の K (カリウム) 低下に陥ることがあります。体力が落ち、元気がなくなり、時にはうごくのもおっくうになります。気をつけましょう。

高血圧の方は、前回同様、塩分の過剰摂取に気をつけてください。

- ⑤ 糖尿病にインシュリンを使っていた患者さんが増えてきて、自己管理もよく、このところ、大変、血糖管理がよい方が増えてきました。喜ばしいことです。今後ともよろしくお願い致します。

- ⑥ やはり、当院は、重病の方が多いですね。最近では、肺炎 (呼吸不全)、強い胸痛を伴った肺塞栓、重症熱傷 (3 度以上)、意識障害 (脱水、低酸素血症) が、その例です。



院長の今月の標語コーナー

大体、先月と以下同文です。

「患者さまの皆さま、共に一緒に病氣と闘ってゆきましょう。慢性の疾病なら、病氣と長いお付き合いしてゆきましょう。」

7月の海外ドクターツアーイギリスについて

今年の院長ドクターツアーはロンドン・ノーリッジ・オックスフォード・コッツウオールズ5泊6日の旅になります。7/13～7/18まで、リウマチ専門医を中心にイギリスのドクター達に会ってきます。3度目の正直です。後日院内のボードに3～4回シリーズで掲載予定です。ご期待ください。

6月の院長の院外活動

- 2/ 市内民間病院医療連携室のIT担当 2人こられる、松戸の病診連携推進に関連して「EMI ネット」にどう取り組むか、 当院にて
- 4/ 順天堂大学第1外科出身の開業医、病院長・現役産婦人科教授・長野県医師会会長、県理事等と懇談 寄居にて
- 7/ 病診連携推進委員会 松戸の医療連携の活性化のために、 衛生会館にて
- 8/ ホームページ委員会 松戸市医師会HPの改良 衛生会館にて
- 9/ NTT MCS IT専門家と懇談、県内のIT化の進捗状況 千葉県ITネットの 当院にて
- 11/ 外国のIT専門家と 懇談 世界のIT化事情 明らかに進んでいます。日本はICT 基盤は世界10位以内だが、実際のソフト面、効果的な利用に関してはかなり遅れています。政府の口先だけでない本腰の推進の姿勢が必要です。 当院にて
- 16/ 医療情報ネットワーク委員会 松戸の医療のIT化は千葉県行政、県医師会、千葉大学の推す「ITネット」に吸収されるでしょう。 衛生会館にて
- 21/ 定例理事会 IT化、医療連携問題、地域の放射能汚染問題など 衛生会館にて
- 22/ 千葉大学准教授藤田先生と 懇談 千葉県内の医療連携をどう進めるか。ITネットに新機能追加を提言しました。 衛生会館にて
- 26/ 夜間小児急病センターにて夜間小児救急診療 市立病院にて
- 30/ 市内民間病院医療連携室 担当と懇談 当院にて

梅雨だというのに暑い日が続きますね。気候が変わってくると 血圧の変動など"で"薬の調節が必要な場合があります。そのためにも 自宅での血圧測定と、受診時の血圧手帳長の持参をお願いします。

今月の担当は…

休日は涼しい所を求めてさまよっている(節電のため)

古谷 でした★

